



銘柄略称: ACKG

証券コード: 2498

平成29年9月期第2四半期 決算説明会

平成29年5月30日

代表取締役社長 野崎 秀則



プレゼンテーション・アウトライン

I： ACKグループのご紹介

II： 今回の決算説明会のポイント

III： 平成29年9月期 第2四半期業績・通期業績

IV： 平成29年9月期 第2四半期成果ハイライト
及び中期経営計画

V： 質疑応答

I : ACKグループのご紹介



(1) ACKグループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、
着実に成長してまいりました。

1957年	○株式会社オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年～	○オリコンサルグループを形成 ○株式公開 (現JASDAQ)
2006年～	○オリコンサルグループを継承し、株式会社ACKグループを創立 ○株式会社オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 ○グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画

1957年～



1999年～



2006年～



(2) ACKグループの提供サービス

海外・国内公共・国内民間の3軸市場の社会インフラを対象に、
企画・提案～計画・設計～建設・監理～運営・保全まで、
多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】ACKグループが対象とする社会インフラ(抜粋)

(3)グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している6社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・地域・環境・構造・防災・プロジェクトマネジメント など
(株)オリエンタルコンサルタンツ グローバル	2014年	道路・鉄道・港湾・空港・地域開発 経済及び産業開発計画 など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、 地下水、建造物解体、施工 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・ 測量・計器類 など
(株)中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・ 設計・施工管理・維持管理 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	ソフトウェア開発・販売、総務・経理、 人材マネジメント など

主要な連結会社を記載

Ⅱ：今回の決算説明会のポイント



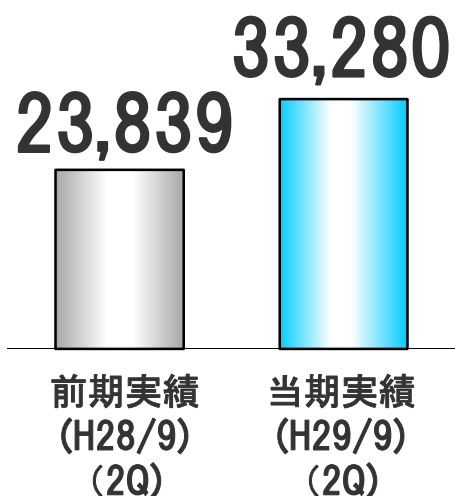
今回の決算説明会のポイント

1

- 第2四半期の受注高、受注残高は過去最高
- 前期に比べて大幅増加

<受注高>

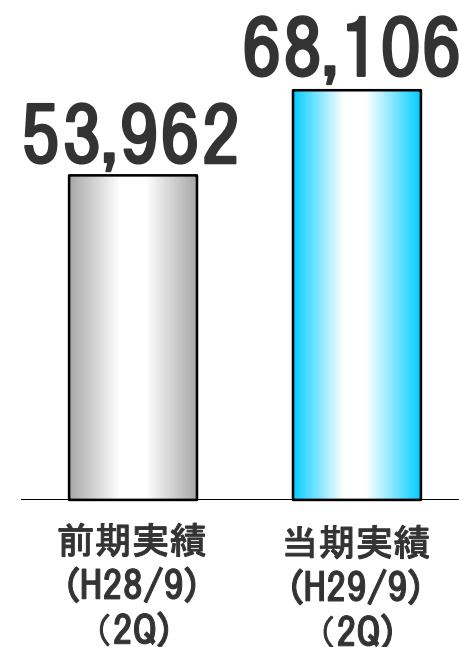
39.6%増



単位: 百万円

<受注残高>

26.2%増



今回の決算説明会のポイント

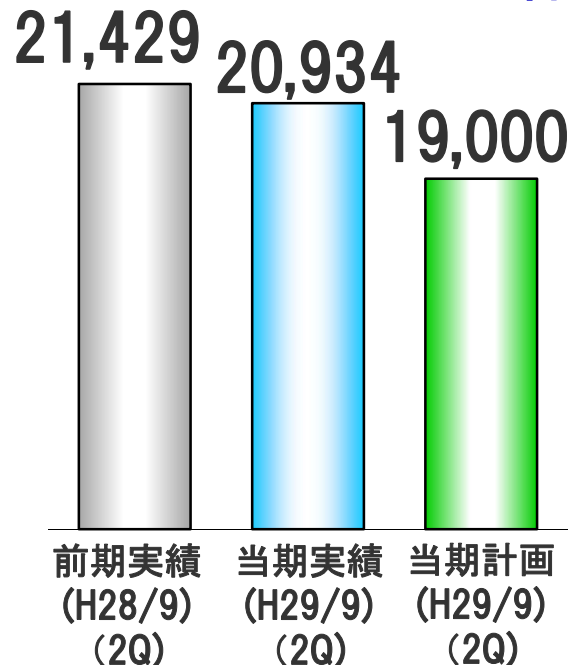
2

- 期首計画に対して、第2四半期は予定どおり、進捗
- 但し、前期に比べて売上高、利益とも減少

単位: 百万円

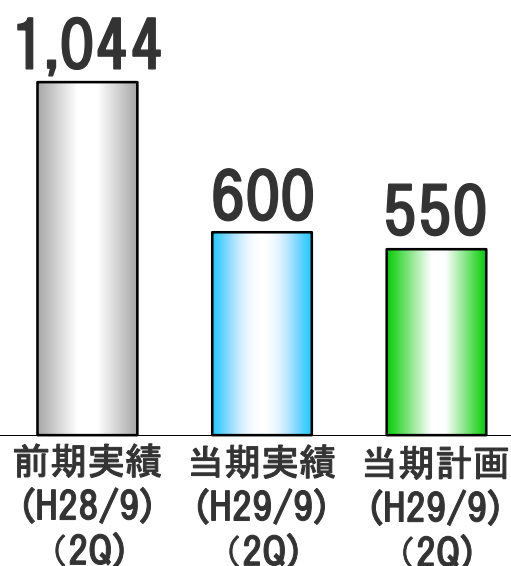
<売上高>

前期比 2.3%減
計画比 10.2%増



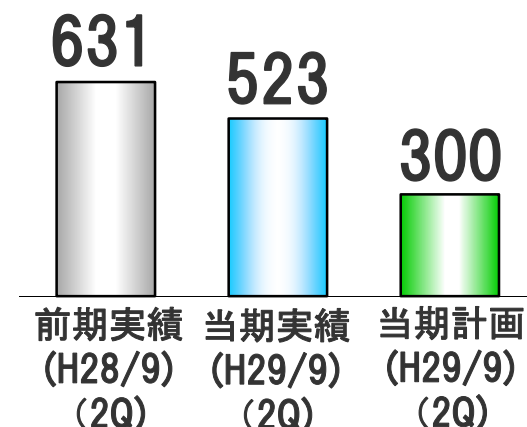
<営業利益>

前期比 42.5%減
計画比 9.2%増



<純利益>

前期比 17.2%減
計画比 74.4%増



今回の決算説明会のポイント

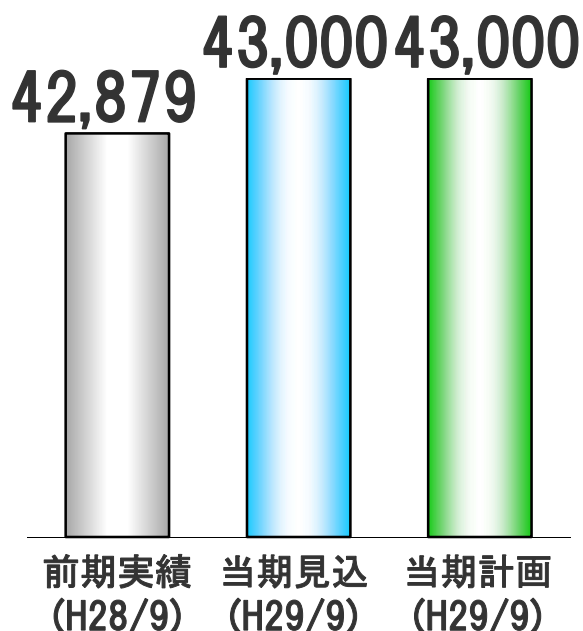
3

- 通期は、すべての指標で過去最高を更新見込
- 6期連続増収増益の見込

単位: 百万円

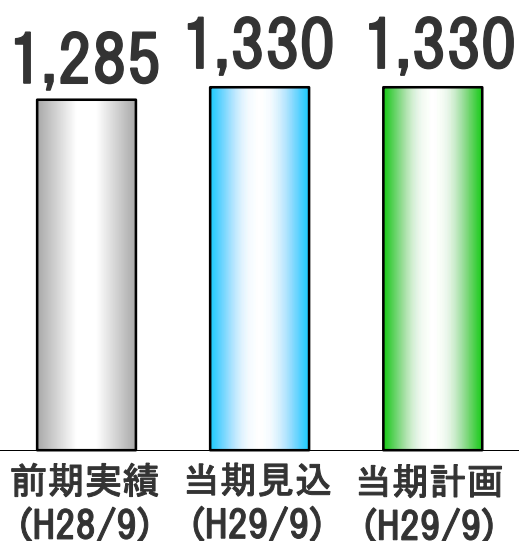
<売上高>

前期比0.3%増



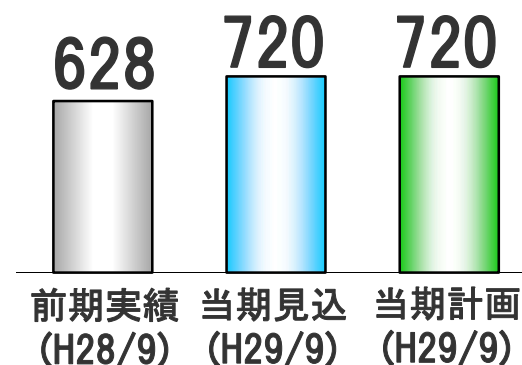
<営業利益>

前期比3.5%増

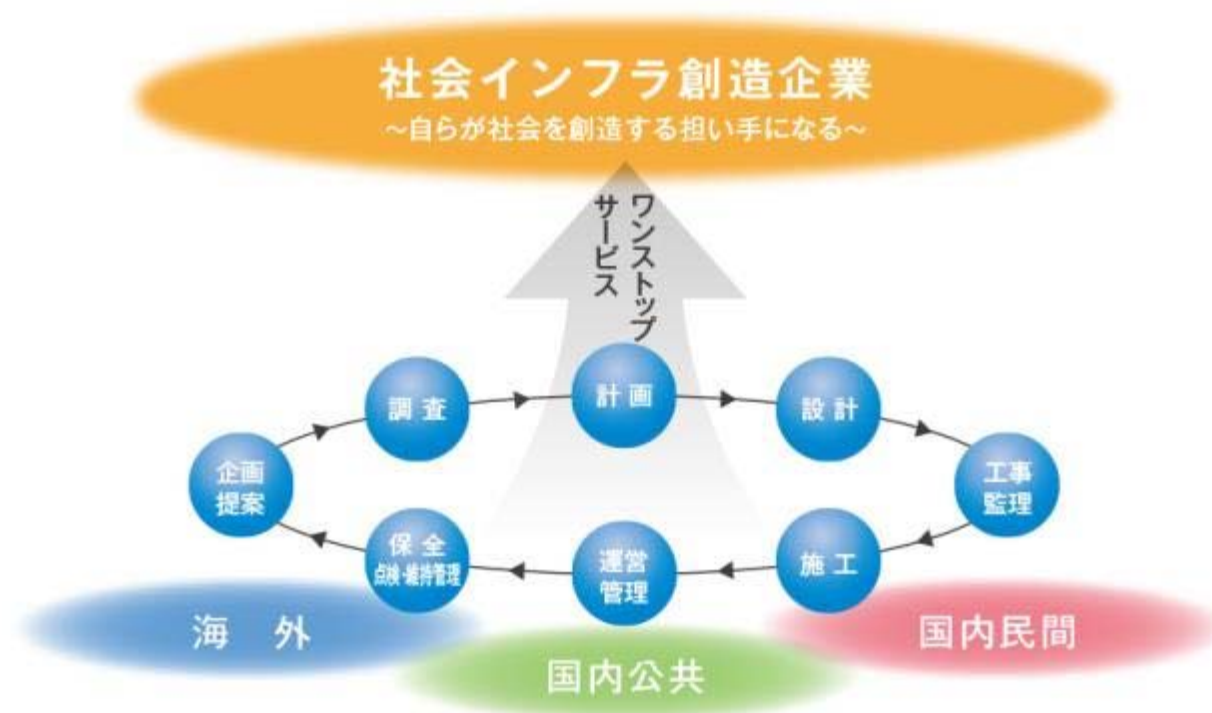


<純利益>

前期比14.5%増



Ⅲ：平成29年9月期 第2四半期業績・通期業績





1. 第2四半期業績

(1)連結受注高

■前期に比べて約94億円(39.6%)の増加

- 受注高は、前期に比べて約94億円増加し、過去最高を更新
- 受注残高も大幅に増加し、今後の売上に貢献

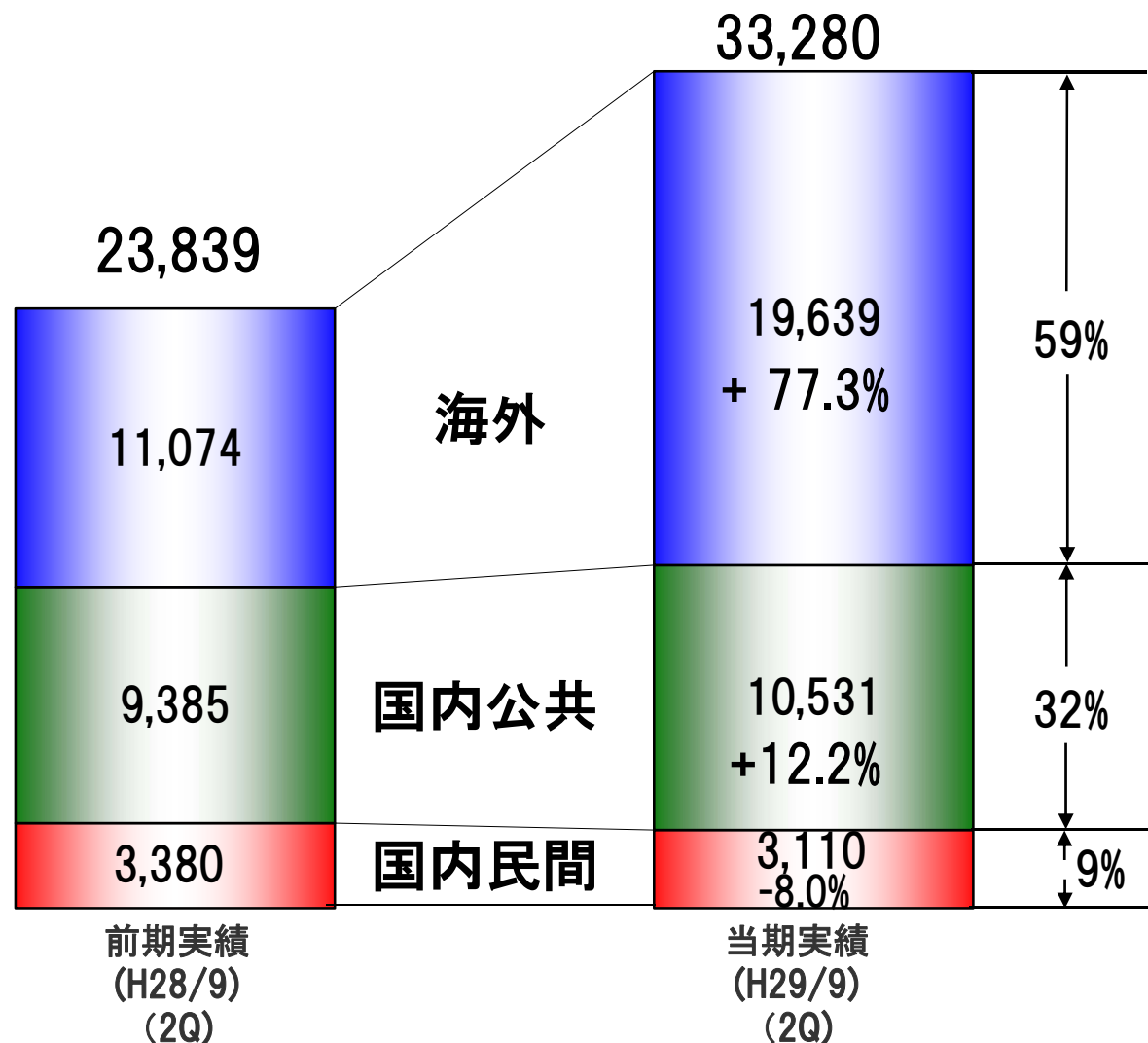
	(百万円)			
	前期実績 (H28/9(2Q))	当期実績 (H29/9(2Q))	増減	当期計画 (H29/9(2Q))
受 注 高	23, 839	33, 280	↑ +9, 441 (+39. 6%)	—
受注残高※	53, 962	68, 106	↑ +14, 144 (+26. 2%)	—

※受注残高: 受注済で生産中の契約総額

(2) 連結受注高 3軸経営分野別

■ 海外の受注高が大幅増加、国内公共も好調

(百万円)



(3)連結受注高 海外事業の大型受注

■海外事業における主な大型案件(10億円以上)

国名	事業名
バングラ デシュ国	バンガバンドゥ鉄道橋建設事業
バングラ デシュ国	クロスボーダー道路網整備事業
エジプト・ アラブ共和国	カイロ地下鉄4号線整備事業
ミャンマー 連邦共和国	ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業
ネパール 連邦民主共和国	緊急学校復興事業

(4)連結売上高、利益

- 期首計画に対して、第2四半期は予定どおり、進捗
- 但し、前期に比べて売上高、利益とも減少

(百万円)

	前期実績 (H28/9(2Q))	当期実績 (H29/9(2Q))	増減	当期計画 (H29/9(2Q))
売上高	21, 429	20, 934	-495 (-2. 3%)	19, 000
営業利益	1, 044	600	-444 (-42. 5%)	550
経常利益	969	687	-281 (-29. 1%)	530
当期純利益	631	523	-108 (-17. 2%)	300

(5)前期比売上高、利益減少の要因

■売上高減少と利益率の低い大型案件の影響により利益減少

◆前期比売上高減少の要因

- 第2四半期の売上計画は、前期末時点での上期売上予定業務が少ないことを考慮し、前期に比べて低く抑えて計画
- 上期の受注が好調であったことを受け、売上高は期首計画を達成したものの、前期比では減少

◆前期比利益減少の要因

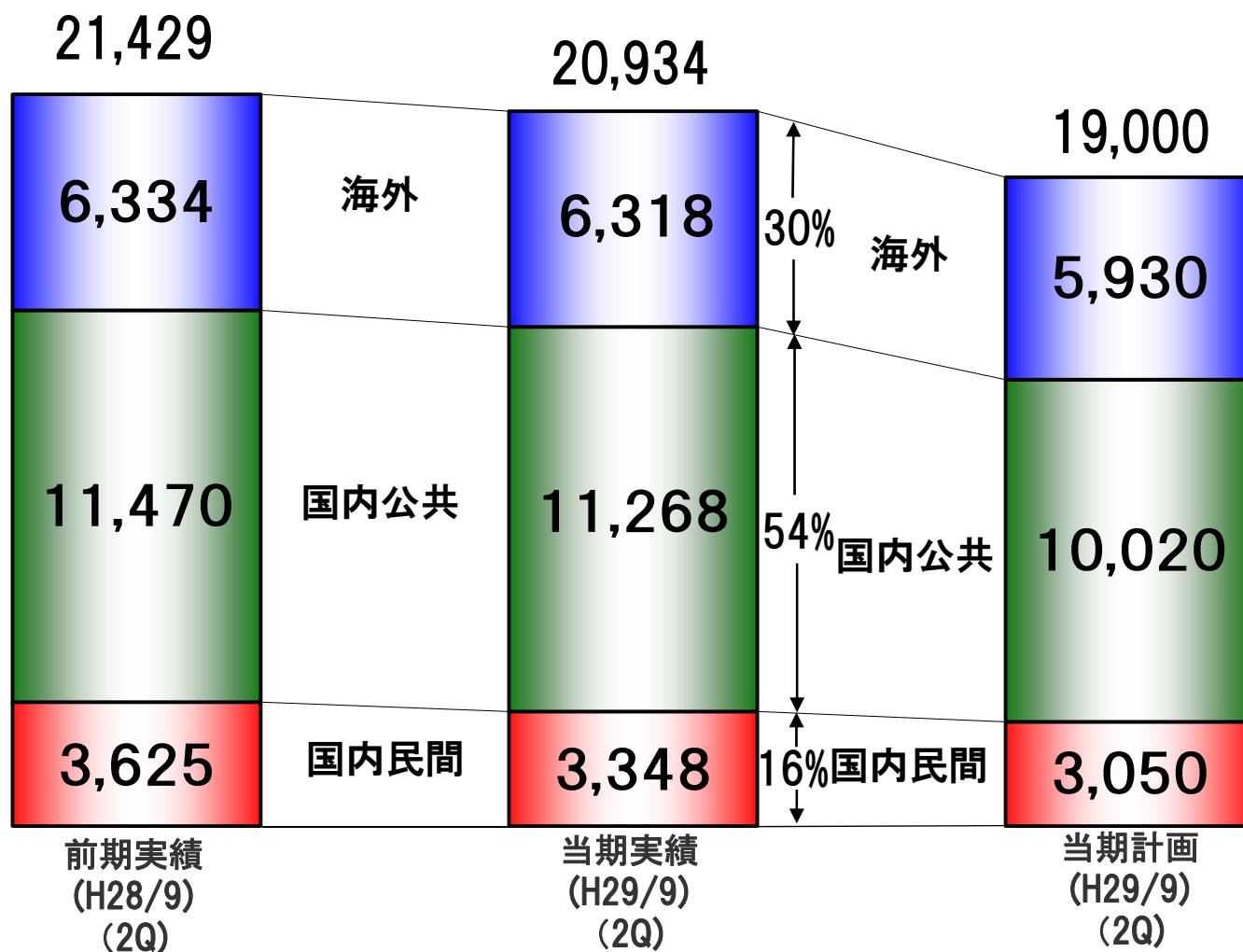
- 売上高が前期に比べて減少し、かつ、利益率の低い大型案件の売上が上期に集中
- 営業利益は期首計画を上回るも、前期比では減少

* 計画比については、売上高、営業・経常・純利益のいずれも達成

(6)連結売上高 3軸経営分野別

■海外、国内公共、国内民間の3軸とも予定どおり、進捗

(百万円)





2. 通期業績

(1)通期業績見通し

- 売上高及びすべての利益で過去最高を更新見込
- 6期連続増収増益の見込

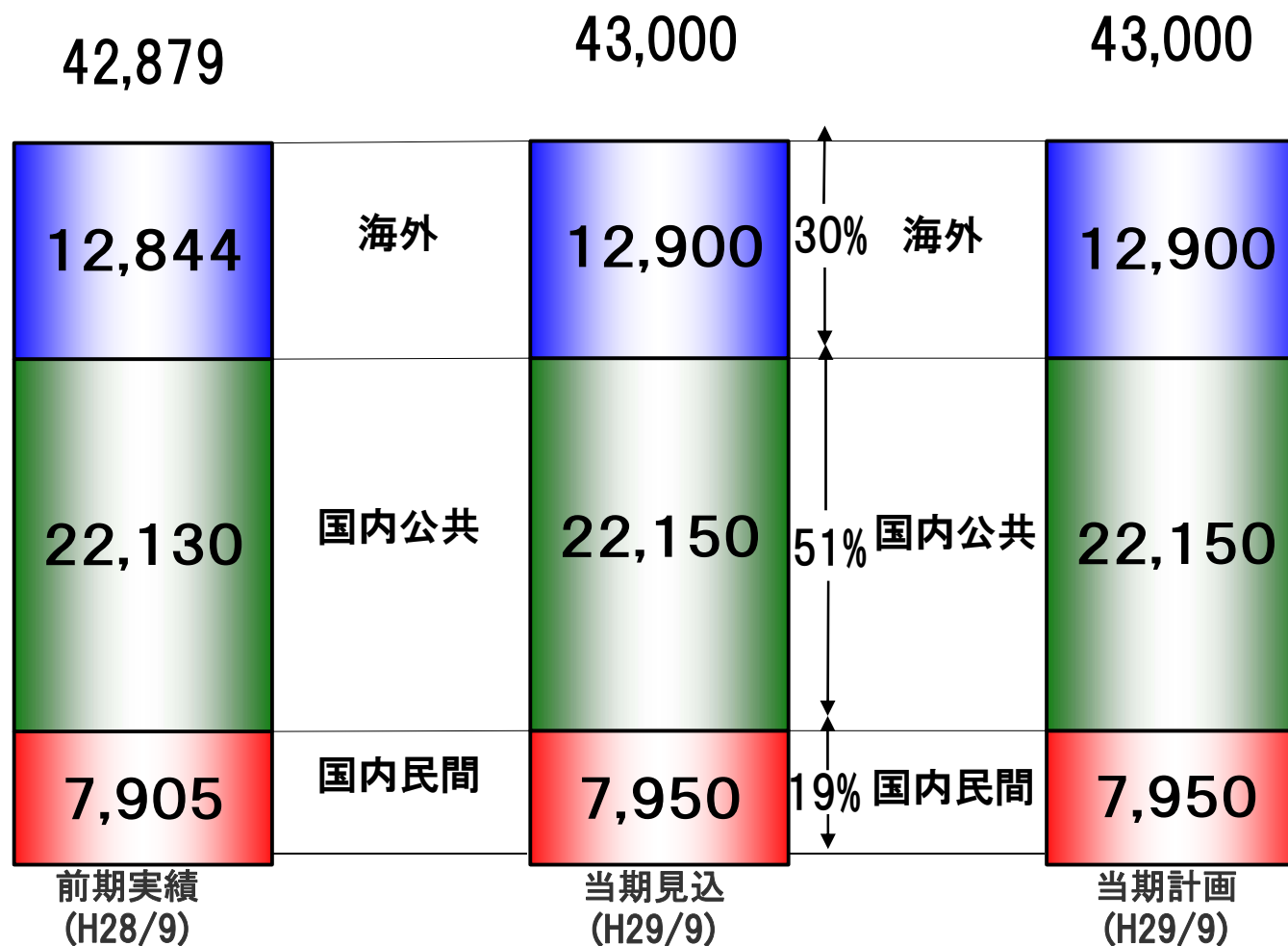
(百万円)

	前期実績 (H28/9)	当期見込 (H29/9)	増減	当期計画 (H29/9)
売上高	42,879	43,000	↑ + 121 (+ 0.3%)	43,000
営業利益	1,285	1,330	↑ + 45 (+ 3.5%)	1,330
経常利益	1,068	1,280	↑ + 212 (+ 19.8%)	1,280
当期純利益	628	720	↑ + 92 (+ 14.5%)	720

(2)売上高の3軸内訳

■重点化事業による事業拡大により、3軸ともに売上高増加

(百万円)



Ⅳ：平成29年9月期 第2四半期成果ハイライト 及び中期経営計画





1. 第2四半期成果ハイライト

(1)事業拡大

■ 4つの個別事業と、4つの統合事業により新たな事業創造を推進



(2)事業拡大

■平成29年9月期は、78件以上の重点化プロジェクトを実施

重点化事業		H29/9期(第12期)		H28/9期 (第11期)	H27/9期 (第10期)	H26/9期 (第9期)
		ACKG	各社			
①	インフラ保全・運営管理	7	15	14	13	10
②	防 災	1	6	11	11	9
③	再生可能エネルギー/スマートコミュニティ	1	4	9	7	8
④	交 通(高度化・総合化)	3	9	9	7	8
⑤	地域活性化	—	11	7	2	3
⑥	事業経営	1	9	8	9	1
⑦	都市再生/民間開発	1	3	7	5	6
⑧	海外新規開拓	4	3	7	7	5
⑨	その他	—	—	2	2	2
合 計		18件	60件	74件	63件	52件
		78件以上				

(3)重点化事業(インフラ保全・運営管理)

現在までの取組み事例(抜粋)

■「i-Construction(アイ・コンストラクション)」への取組み

- ・ 道路予備設計業務でのICTの活用により、作業の効率化と成果の品質の向上に寄与
- ・ 当業務が国土交通省のHPに「ICT土工事例集【測量業務編】」として掲載

(国土交通省 HPのURL)

http://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000028.html



国土交通省掲載事例

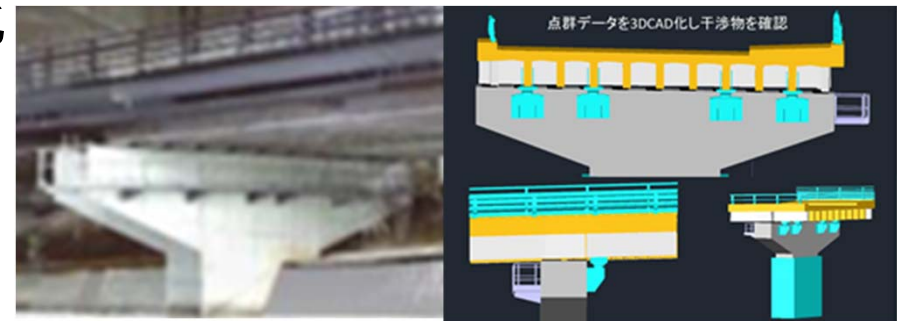


株式会社 オリエンタルコンサルタンツ



株式会社 エイテック
Advanced Technology Enables Comfortable Life

- ・ 橋梁の耐震補強設計業務では、既設橋梁のレーザー計測により点群データを取得し、3DCAD化
- ・ 3DCAD化により、成果品質の向上、設計精度の向上に寄与



橋梁の3DCAD化



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ



株式会社 エイテック
Advanced Technology Enables Comfortable Life

(4)重点化事業(防災)

現在までの取組み事例(抜粋)

■病院における事業継続計画(BCP)水害編の策定を支援

- ・低地帯に位置する災害拠点病院において、大河川の破堤により生じる浸水深や浸水継続時間を考慮したBCP(水害編)を策定



生じる浸水深
(病院入口:約2.5m)



水害リスク評価の実施

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

■シンポジウム「自然災害に対する避難のあり方について」を開催

- ・平成28年9月開催シンポジウムの事務局を運営
- ・防災対策に向けた様々な取り組みを今後も着実に推進



明治大学・中林一樹特任教授
による課題提起



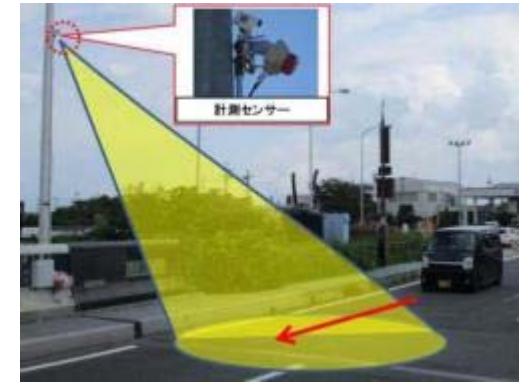
冊子の発行
(発表内容)

(5)重点化事業(交通(高度化・総合化))

現在までの取組み事例(抜粋)

■交流・観光機能の強化に関する共同研究(静岡県焼津市)

- ・ 焼津市において、交流・観光機能の強化に関する共同研究を実施
- ・ 交通データの収集および科学的な分析に基づき、交流・観光機能の強化に向けた的確な施策を展開



交通データ計測機器による観測イメージ

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
ORICON

■交通安全に向けた新たな道路構造・施設を提案

- ・ 従来の交通技術を生かし、「ラウンドアバウト」や「二段階横断施設」など、新たな交通安全事業を展開



ラウンドアバウト



二段階横断施設

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
ORICON

(6)重点化事業(地域活性化)

現在までの取組み事例(抜粋)

■公共施設等の管理・運営に加え、 公園の魅力発信事業を開始(計8箇所)

- ・あしがり郷「瀬戸屋敷」(神奈川県開成町)の管理・運営を開始、また、
泉自然公園(千葉県千葉市)で新たに魅力発信事業を開始
- ・「るなばあく」(群馬県前橋市)(平成27年度より管理・運営)では、
「日本一懐かしい遊園地」をコンセプトに、平成28年度
は過去最高の約146万人が利用
(日本経済新聞(夕刊)(平成29年5月18日)に記事掲載)



「るなばあく」の様子

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

株式会社 オリエンタル群馬

■「ぷらり」を活用した地域振興を推進

- ・福岡県うきは市で、観光アプリ「おさんぽうきは」
を導入し、観光活性化に寄与
- ・短期間、低コストで自主作成可能なコンテンツ管理
サービス「ぷらり」を開発(福岡県新宮町でも導入予定)



「ぷらり」のコンテンツ作成例

株式会社 リサーチ アンド ソリューション

(7)重点化事業(海外新規開拓)

現在までの取組み事例(抜粋)

■ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業(ミャンマー連邦共和国)

- ・平成28年12月にコンサルタント契約を調印
- ・約270 kmの路線および周辺施設の改修・近代化を実施し、安全で高速な列車運行を通じて旅客、貨物の輸送能力を增強



調印式の様子

■第5環状線212工区開通(クウェート国)

- ・平成20年より設計・施工監理に参画し、最初に当区間が開通(平成28年11月)
- ・第5環状線は、クウェート市内とイラクを結ぶ国際幹線道路で、当区間の開通により、移動時間が20～30分から5分に短縮



今回開通した212工区

(8)外部評価

◆数多くの表彰獲得・世界への情報発信

■「第4回ふるさとパンフレット大賞」

地域活性化センター賞を受賞

- ・(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)オリエンタル群馬が企画、編集、制作した、前橋市観光パンフレット『kurun(くるん)』が、日本全国の約2,600種類のパンフレットの中から受賞



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ



株式会社 オリエンタル群馬



■「第12回JICA理事長表彰 JICA国際協力感謝賞」を受賞

- ・1970年代に開始したODA事業「インドネシア国ジャカルタ漁港整備事業」において、40年近く一貫して事業推進に貢献した折下定夫、これらの功績が評価され受賞



株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



■災害対策関係功労者感謝状を授与

- ・国土交通省国土地理院から、熊本地震など災害対策活動支援3件での功績が評価され、感謝状を授与



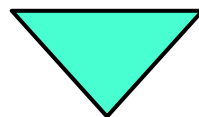
株式会社 エイテック
Advanced Technology Enables Comfortable Life



(9) インセンティブ・プラン

■取締役及び従業員に業績向上へのインセンティブを付与し、
中長期的な企業価値の向上を図る

『株主』との価値共有を進める



取締役

譲渡制限付株式報酬を平成29年1月に導入

従業員

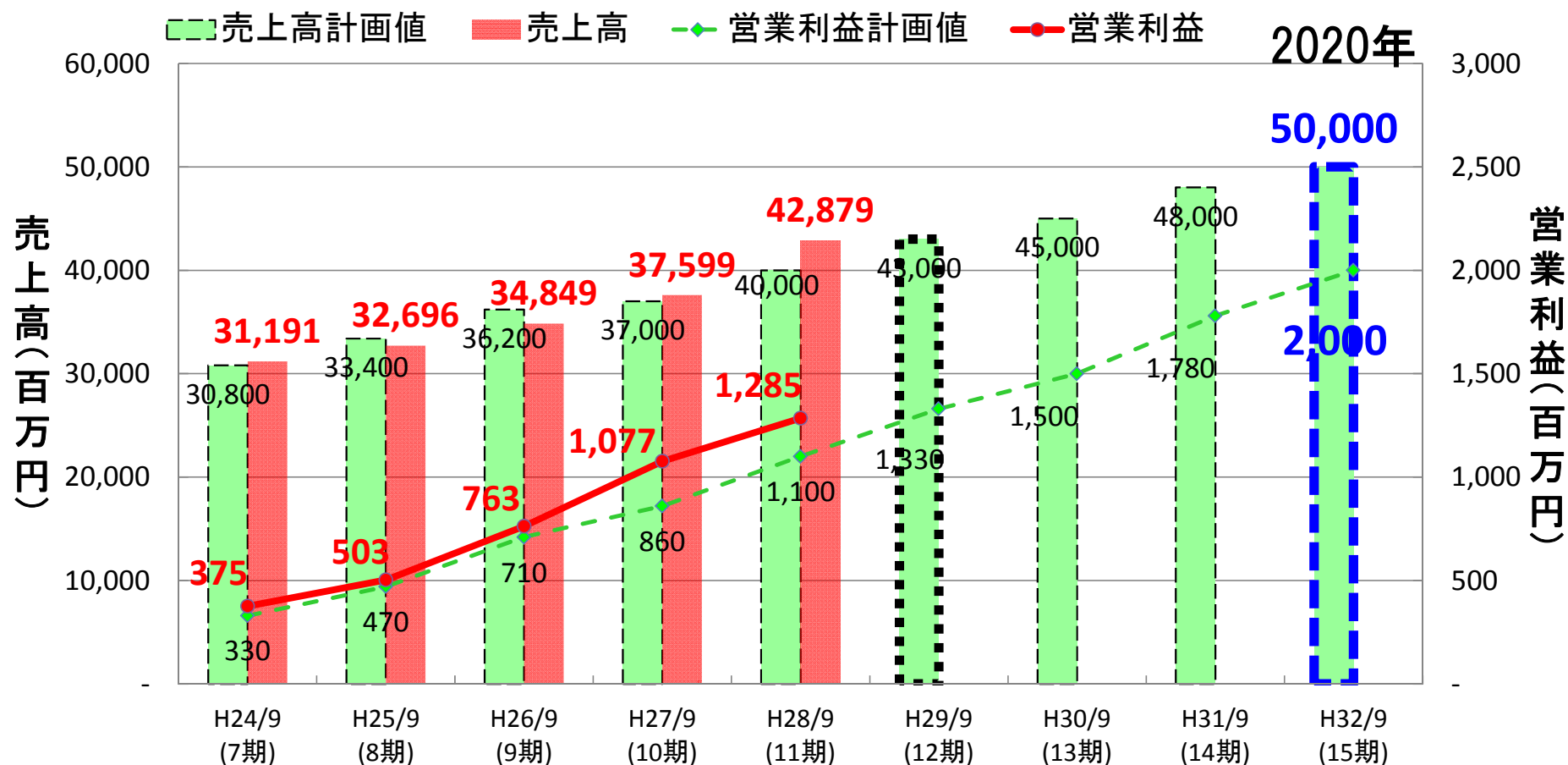
従業員持株会信託型ESOPを平成28年9月に導入



2. 中期経営計画

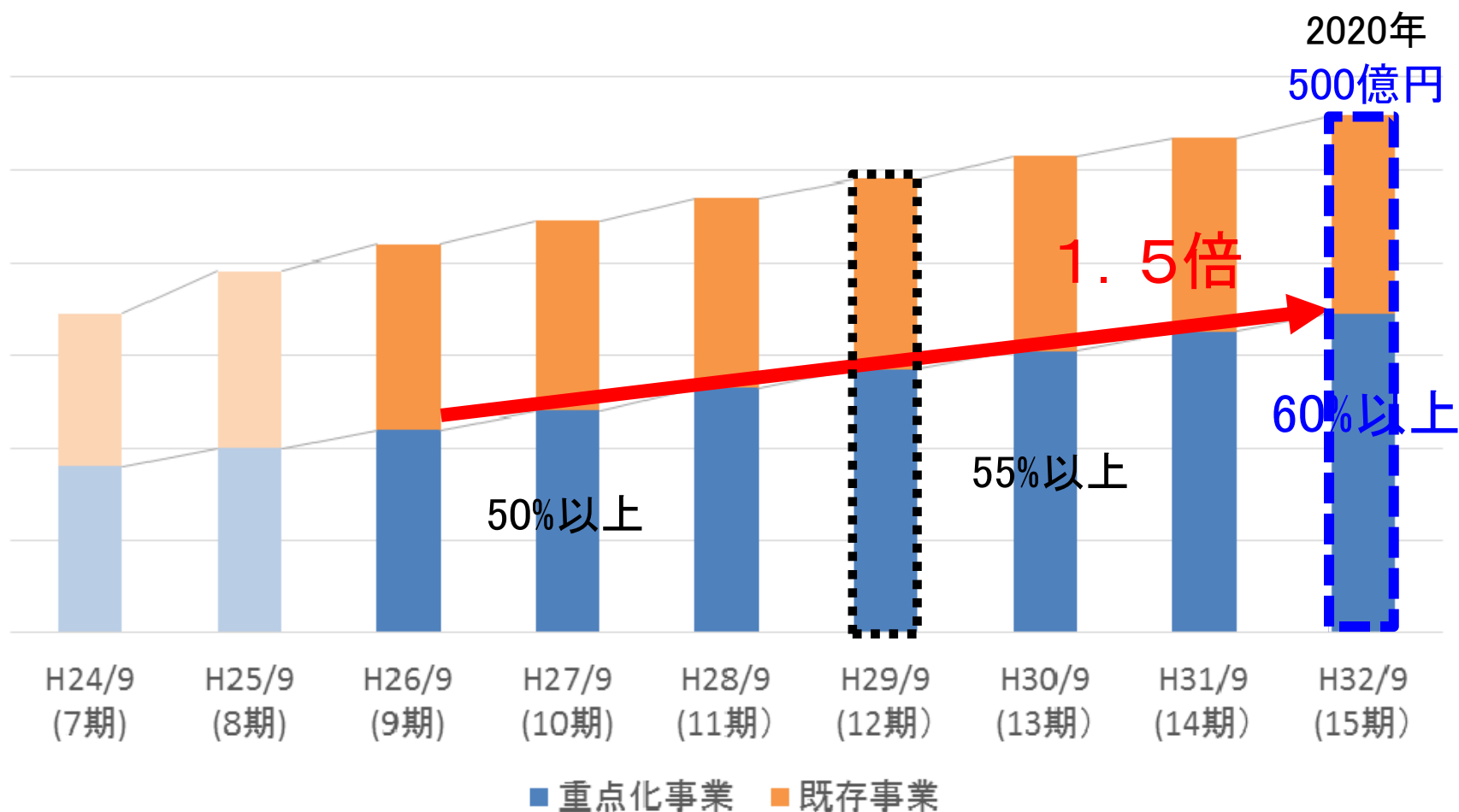
(1)事業拡大

■2020年(平成32年9月期)の目標に向けて、
着実に増収増益



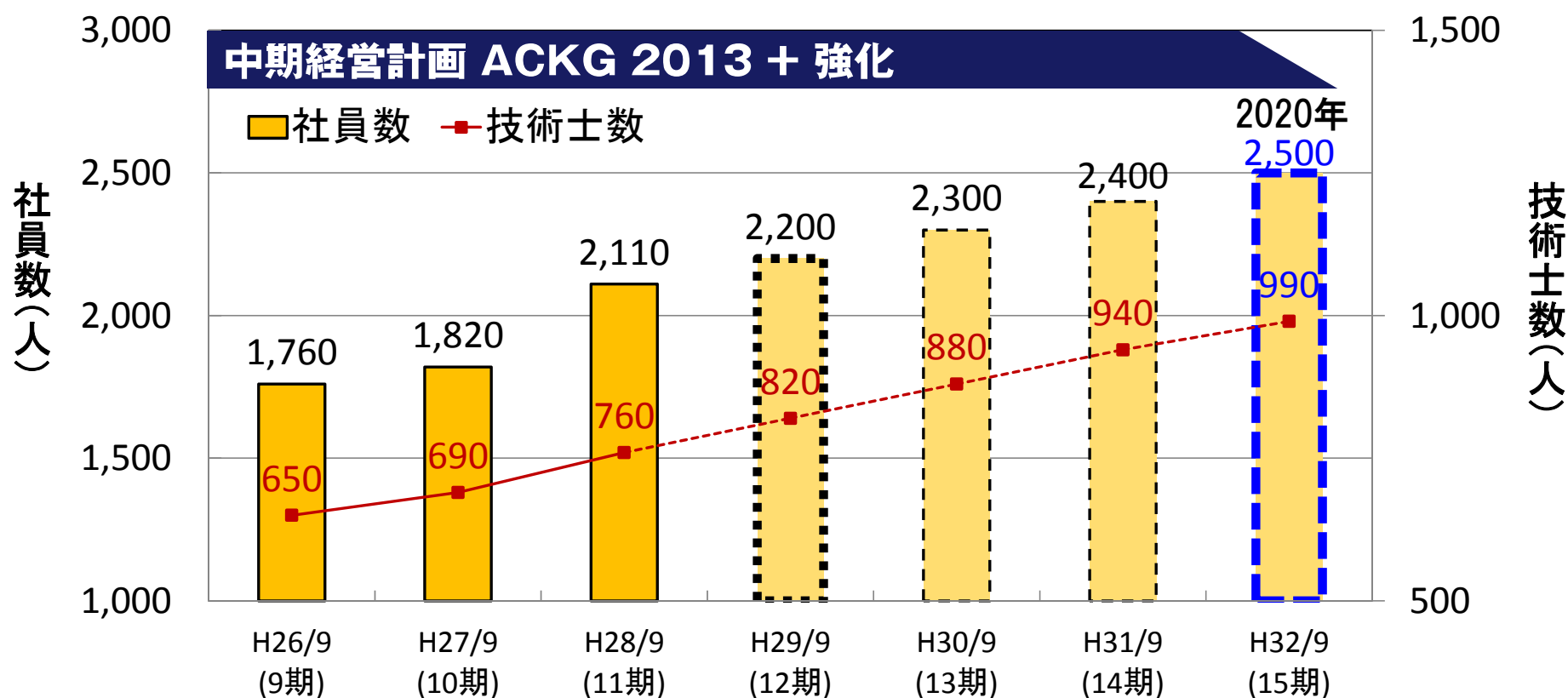
(2)重点化事業の拡大

- 売上高500億円の達成に向けて、重点化事業の受注高を拡大
- 平成26年9月期の1.5倍、全体の60%以上に拡大



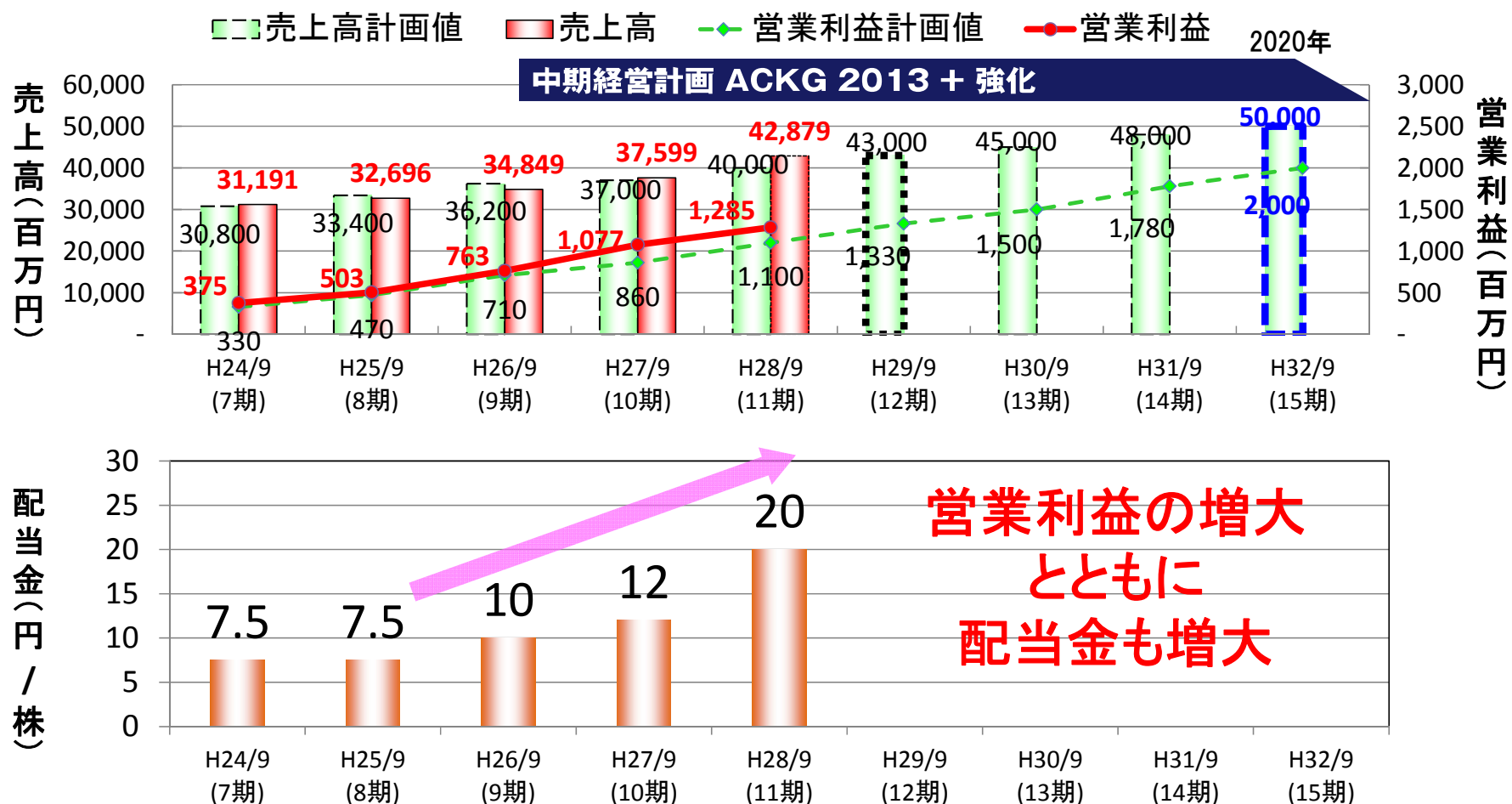
(3)人材の確保・育成

- コンサルタント業界における競争力＝「人材」＋「技術力」
- 人材の確保・育成を強化し、受注拡大へ



(4)株主配当

■営業利益の増大とともに、配当金も増大



未来を想像し、価値を創造する企業グループへ

『世界の人々の豊かなくらしと夢の創造』の実現へ
これからもサービス領域の無限大に
チャレンジしてまいります



本資料及び本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

V : 質疑応答



お問い合わせ先



銘柄略称: ACKG

証券コード: 2498



〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <http://www.ack-g.com>

問合せ 統括本部 森田 信彦

e-mail: ir-ackg@ack-g.com

本日はご多忙の中、
弊社の決算説明会にご来場いただき、
誠にありがとうございました。

